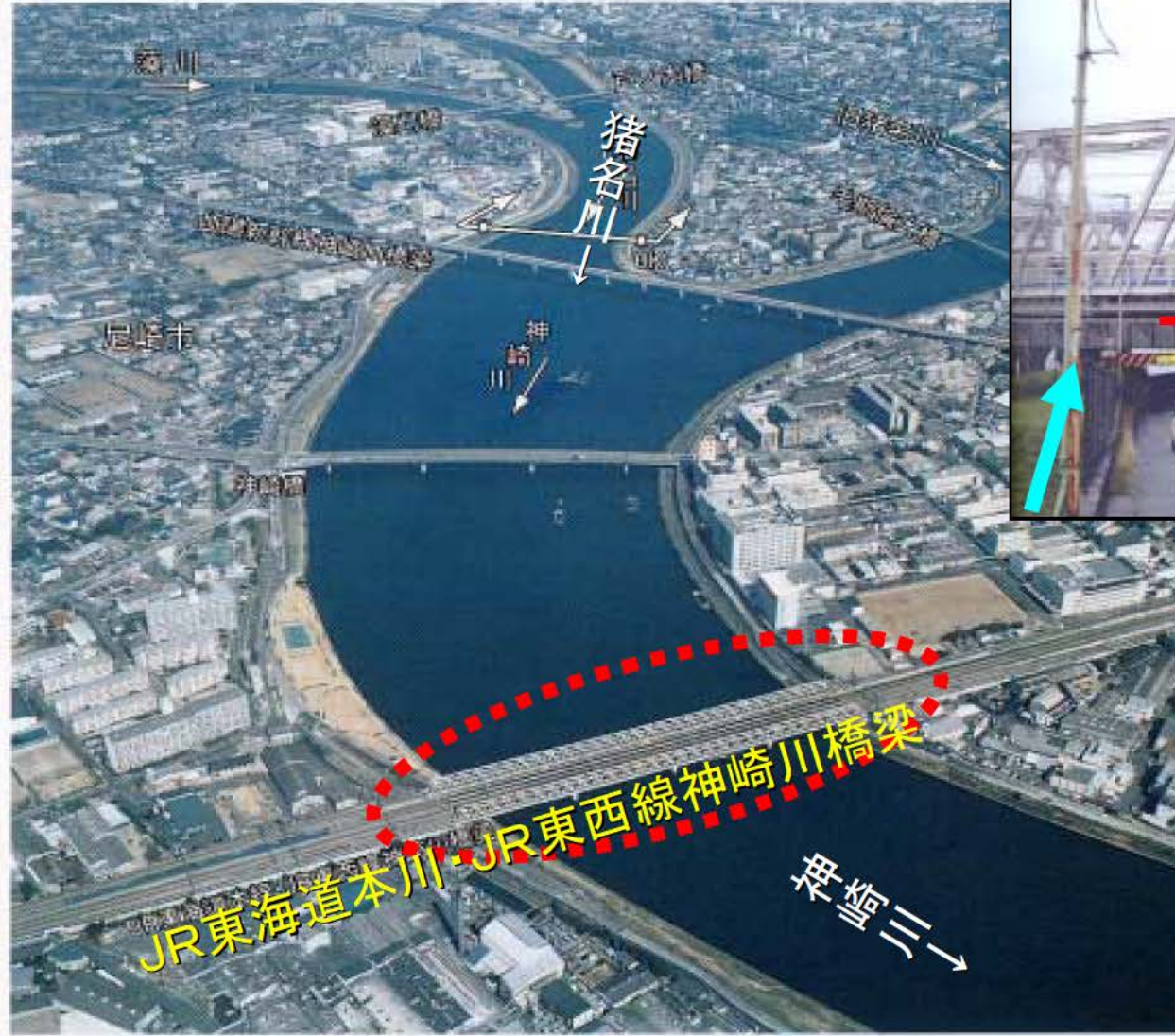


堤防高不足部【JR神崎川橋梁】（下流から上流を望む）

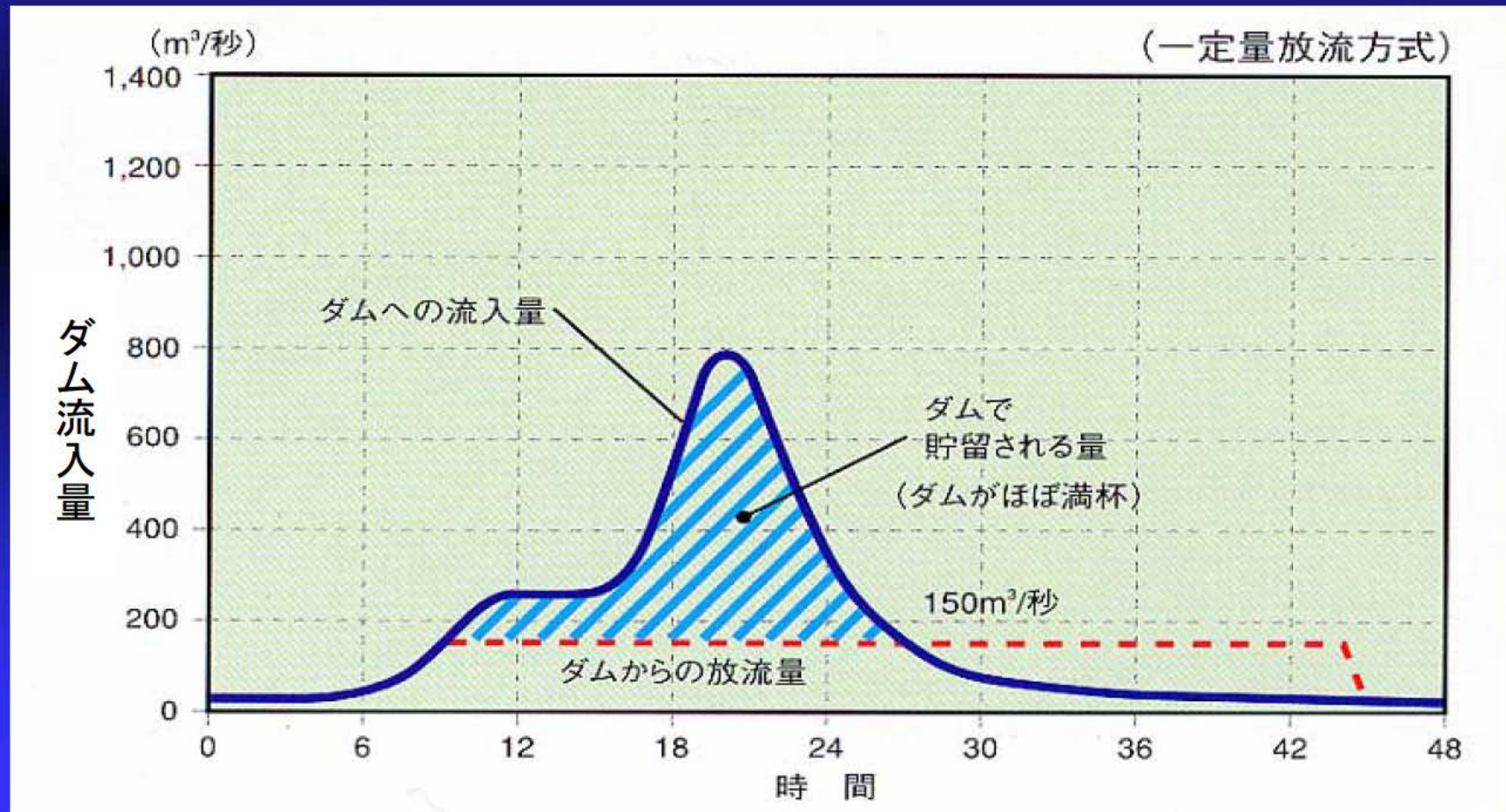
JR神崎川橋梁は、桁下高が低く一連の堤防と比べると、切り欠き状になっています。



一庫ダムの洪水調節の方法

一庫ダムの洪水調節は、被害が生ずる中小洪水を目標として、ダムに流入してくる流量が毎秒150m³を上回る洪水を、ダム貯水池に貯留し、ダム下流へ毎秒150m³を放流する計画です。

なお、大洪水で毎秒150m³一定量放流方式を実施すると、ダム貯水池に洪水を貯留することができず洪水調節容量が満杯となったら、流入量をそのまま放流することになります。



既往4洪水によるシミュレーション

洪水毎の地点別流量一覧表

洪水名	降雨要因	実績総雨量 (小戸上流域) mm	計算ピーク流量 (m ³ /s)		
			一庫ダム	銀橋	小戸
S28.9	13号台風	265.8	680	810	1,080
S35.8	16号台風	374.6	890	1,460	1,660
S42.7	7号台風くずれ 梅雨前線	182.0	440	860	1,210
S58.9	10号台風 +秋雨前線	247.2	570	1,010	1,260

*) 現状治水施設(ダム、河道、防災調節池)をもとに流出計算により算出

昭和28年9月洪水 日雨量線図

